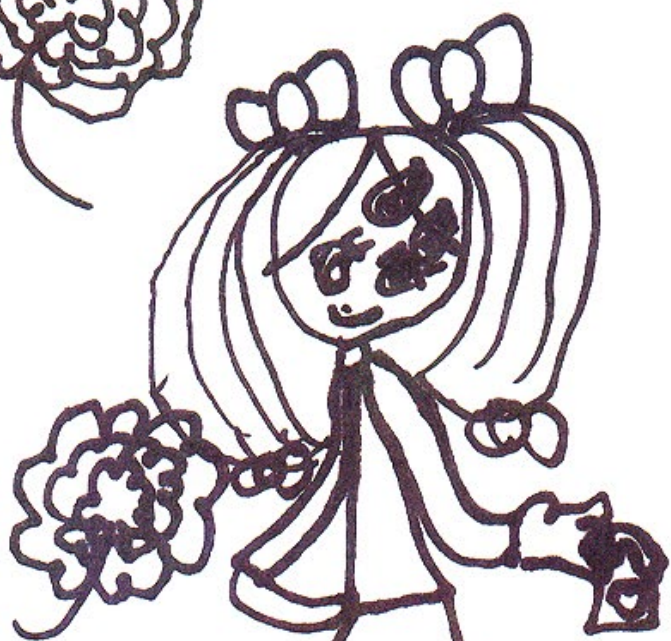
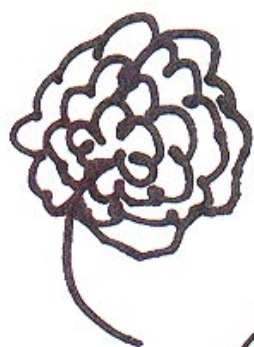


6月号 とよさと

美肌通信 vol.107



そうま  
ゆあ



# June

今日号のとよたち美肌通信の表紙は、  
おしゃれなリボンやブーツをはいた女の子が  
お花畑であそんでいる絵です。ゆ  
雨がつづきブルーになりがちな6月ですが、  
あてきな表紙で気持ち明るくなりますね♡  
絵を描く事、すみっこくらしの本を読む事が  
好きな女の子が描いてくださいました。😊  
フラワーも得意だそうです。

院長はじめスタッフ一同

バリエ感謝いたします!



「自分がもうダメかなと思ったそこからスタート。そこからどれだけ頑張るかで自分の限界が決まる」。これは佐トアヤコさんの言葉です。テレビは余り見ない私ですが、外見の彼女からは少し想像が出来ませんでした。芸人や女優までこなし、共演者からも評価されていると聞くと納得する一面です。

私の尊敬する松下幸之助氏も同様な金言を残しています。「万策尽きたと思うな。自ら断崖絶壁の淵に立て。その時初めて新たなる風が吹く」、と各著書の中でそう書き残しています。

振り返ると私自身周囲の人に無理だと言われる事もありましたが、医師という職業を実現出来たのも絶対に諦めないという志があったからだと思います。格好を付けると自分を信じ続けたからだと考えます。

でも、自分を信じ続け様としてもほぼ順風にはいきません。常に逆境や困難がすぐ目の前に必ずいます。そんな時、「無理・無理」と言わないて下さい。

投げ出さないで下さい。今の時代“何としてもという覚悟”が持てなくなっている様に感じます。

私が小学5年生の時、おそらく社会科の授業中だったでしょうか、先生が栃木県民は引込み思案で自分の意思を声に出して表現出来ない気質だと言っていたことが思い出せます。しかし何の何の、これは少し皮肉も含まれますが、現代日本人の自己主張は、他人から何かを与えてもらうための主張は特に、群れをなして上手になっていることと思います。それはある意味、別の言い方をすれば被害者意識や弱者アピールが上手になっていることの様に感じます。

手は2つしかない。3つも4つも掴んで持ち続けることは出来ないのです。何かを得ようとするなら、何かを捨てなければいけないことは多いはず”です。

この続きは次月号に  
続く

院長、拝